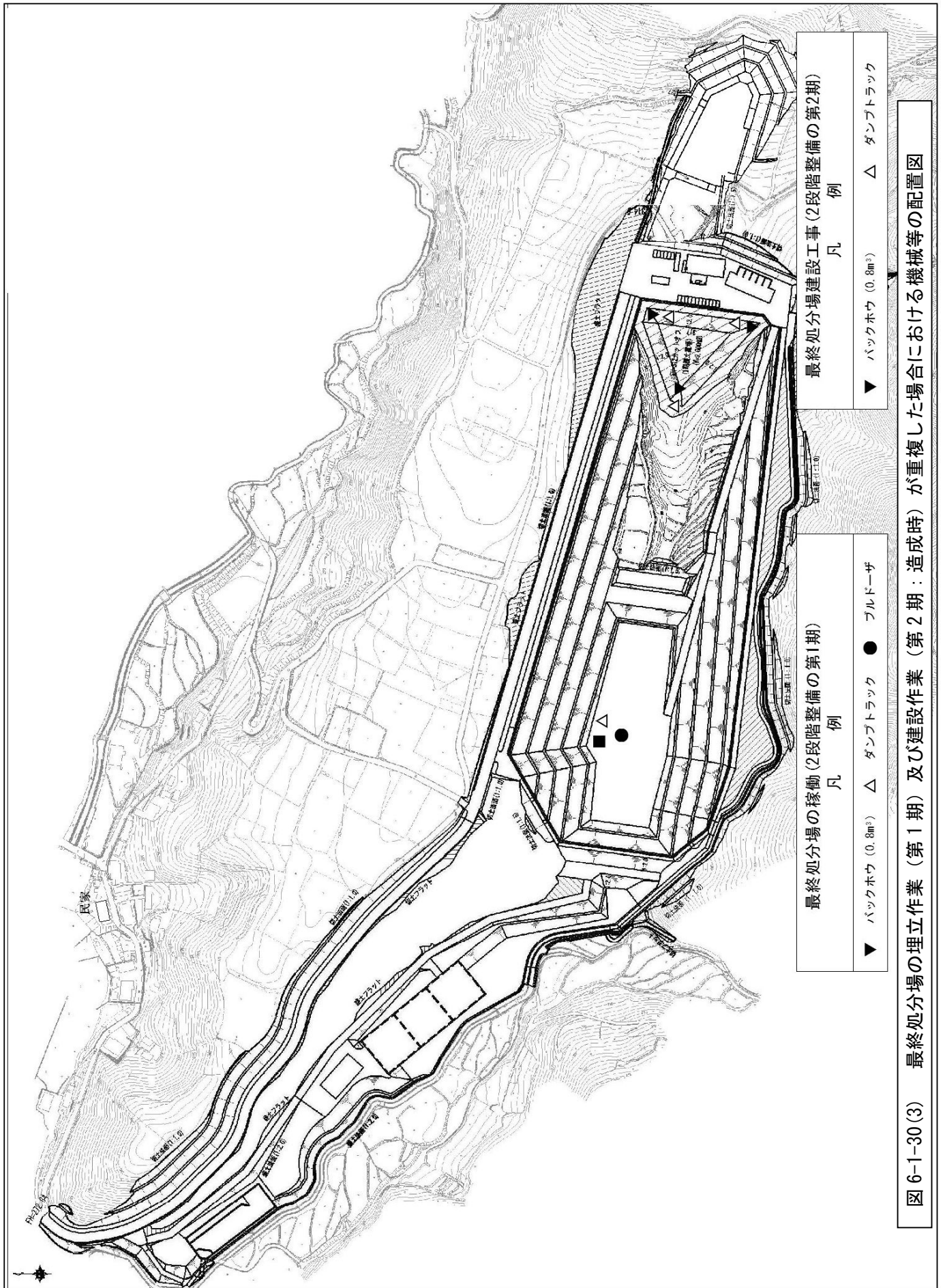


- 凡例
- バックホウ
 - ブルドーザ
 - △ ダンプトラック

図 6-1-30(2) 埋立作業時の機械等の配置図（最終処分場 C 案：供用時）



(5) 予測結果

① ごみ処理施設の稼働に伴う影響の予測結果

(ア) 年平均濃度予測（長期平均濃度予測）

最大着地濃度地点における寄与濃度と現況濃度を加えた年平均予測濃度は、表 6-1-84(1)～(4)に示すとおりであった。

最大着地濃度地点の各予測ケースの結果を比較すると、煙突高さが低い方のケースが高い濃度となった。ただし、煙突高さの違いによる最大着地濃度地点の濃度の差は非常に小さかった。

窒素酸化物の寄与濃度分布図を図 6-1-31(1)～(2)に示す。最大着地濃度地点は、対象事業実施区域南側へ約 600～630mの樹林地内となった。煙突配置位置を南側とした場合はこの位置が南へ約 80 m移動するものと考えられる。その他の物質の寄与濃度分布図は資料編に掲載した。

表 6-1-84(1) ごみ処理施設の稼働による長期平均濃度予測結果（二酸化硫黄）

単位：ppm

煙突高	最大着地濃度地点 (煙突からの距離)	現況値 (バックグ ラウンド)	寄与値 (施設の稼働に 起因する濃度)	予測値 (現況値と寄与 値の合成値)	予測値 (日平均値へ の換算値)
59m	南側に 600m	0.003	0.0002	0.0032	0.007
100m	南側に 630m		0.0001	0.0031	0.007

備考) 二酸化硫黄(SO2)の日平均値の予測結果は年間 2%除外値である。

表 6-1-84(2) ごみ処理施設の稼働による長期平均濃度予測結果（二酸化窒素）

単位：ppm

煙突高	最大着地濃度地点 (煙突からの距離)	現況値 (バックグ ラウンド)	寄与値 (施設の稼働に 起因する濃度)	予測値 (現況値と寄与 値の合成値)	予測値 (日平均値へ の換算値)
59m	南側に 600m	(0.014)	(0.0005)	0.0099	0.024
100m	南側に 630m		(0.0004)	0.0098	0.024

注：現況値及び寄与値は窒素酸化物の値。

備考) 二酸化窒素(NO2)の日平均値の予測結果は年間 98%値である。

表 6-1-84(3) ごみ処理施設の稼働による長期平均濃度予測結果（浮遊粒子状物質）

単位：mg/m³

煙突高	最大着地濃度地点 (煙突からの距離)	現況値 (バックグ ラウンド)	寄与値 (施設の稼働に 起因する濃度)	予測値 (現況値と寄与 値の合成値)	予測値 (日平均値へ の換算値)
59m	南側に 600m	0.019	0.0001	0.0191	0.049
100m	南側に 630m		0.0001	0.0191	0.049

備考) 浮遊粒子状物質の日平均値の予測結果は年間 2%除外値である。

表 6-1-84(4) ごみ処理施設の稼働による長期平均濃度予測結果（ダイオキシン類）

単位：pg-TEQ/m³

煙突高	最大着地濃度地点 (煙突からの距離)	現況値 (バックグ ラウンド)	寄与値 (施設の稼働に起因する 濃度)	予測値 (現況値と寄与値の合成 値)
59m	南側に 600m	0.021	0.0005	0.0215
100m	南側に 630m		0.0004	0.0214